

シンガル家族の  
暮らしこそ育て

松江市在住歴8年目。似顔絵イラストレーターとして活躍中のシンガルマザー。  
自宅兼事場で県内外からのオファーに応えるやましたさん。

テレワークで仕事する先駆けともいえます。



## Q 松江移住のきっかけは?

島根県へエターナーのきっかけは東日本大震災。神奈川県で被災し、電気が点かない、飲み水や車の燃料の確保にも苦労する毎日に大きな不安を覚え、生後3ヶ月の愛娘あんじさんを伴って、当時結婚していた夫の実家のある出雲市に移住。ほどなく、松江市内でグラフィックデザイナー関連の研究員として就職。その後、離婚のタイミングで松江市内に引っ越ししてきました。



母 まほさん(北海道出身)  
長女 あんじさん(10歳、小学4年生)  
二女 ハナちゃん(女の子のフレンチブルドッグ)

## Q 松江の印象は?ズバリ

一番には、人がいい!そして、住みやすい。風景も美しいし穏やかで、落ち着いて暮らせます。(駅の近くに住んでいるので)買い物や生活圏も適度にコンパクトで不便さもありません。

## Q 人がいい、というのは?

ほどよい距離感を保てるし、つながりを広げることもできる地域だなと思います。仕事においても、知り合いが次へ次へとつなげてくれます。イベント出展への声かけや、イベント等で知り合った人が活動する場合に仲間として呼んでくれたり、企業などにも紹介してくれたり。私は主にホームページで仕事の発信をしているのですが、ロコモでも多くのお仕事をいただいています。

## Q 松江の好きなところは?

宍道湖の夕陽!私は北海道生まれだから、スケールもダイナミックさも松江の比ではない自然を子どものころから間近で見ていたけれど、宍道湖の夕陽は別格。夏、ビールを片手に窓から見る宍道湖の夕陽が特に(笑)!癒されるし、感性に合うんです!

## Q 松江での子育てはどうですか?いい点や困った点は?

島根に来て初めて勤めたのは公的機関だったので、定時で帰れる、休みが計画的にとりやすいなど融通がきいたほうだと思います。保育所も、先生方も親身だし手厚いと感じていました。

一方で、イベントへの出展は土日が多く、土日に預けられる先を探すのには苦労しました。また、イベント終了後の夕方は、ほかの出展者さんへ申し訳なく思いながらも「ごあいさつも片付けもそこそこに、お迎えにダッシュ。今後、子育てしながら多様な働き方をする人が増える社会になるので、土日保育やお迎え時間については、働く人の要望に合わせて広げてもらえるといいなと感じました。

今、娘は小学校の週一回の通級指導教室を利用しています。子どもの個性や状況に合わせた指導をしてもらえるのがとても良いです。松江にも、「シッター」を請け負う企業があればいいなと思います。



Q やましたさんのお仕事は松江でなくてもできると思うのですが、松江に居ながら他県のクライアントさんのお仕事もしている、好きなことを仕事にしている素敵なお口一日モデルでいらっしゃると思います。

たしかに、場所を選ばない仕事です。私は高校卒業してカバン一つで実家を飛び出しました。何だって私はできる!ってギラギラしてました。(笑)。デザインを勉強したのち、自分のやりたいことや色々な職にもチャレンジしながら、これまで複数の他県・他地域に住んできましたが、松江が良い!これからも住み続けようと思っています。

松江に居ていろんな可能性をつかめている。それには、まず挑戦してみること、環境を変えてみること。できることが増えています。そして身についた「自分ができること」を発信していくことが大切だと思います。

Q コロナ禍で、テレワークや仕事を休んで家に居ることが大変を感じている人も多いので、やましたさんの時間の使い方のコツを教えてください。

しっかり仕事をするとき、休むときのメリハリを付けるようにしています。加えて自分が楽しむ時間もつくるようにしています。

コツは、一日(24時間)のなかでも仕事、家事、子どもとの時間は区分しますが、一日だけで考えるのではなく、週単位で考えるようにしています。朝から晩まで仕事をする日の次の日は、思いつきり休む日にするなど。

また仕事のルールとして決めている「納期を絶対に守る」ために、①自分が一つの作業にどれくらいの時間がかかるのかを知ること、②仕事量とその時間を計算しスケジュールを組むこと、③スピードアップとクオリティアップを図るための工夫をすること。私はパソコンを使って似顔絵を描くのでパソコンのデバイスや機能を自分が使いやすいようにアレンジしています。業界では、制限時間内にクオリティよく完成させるコンテストもあるので、そういうものに参加しながら、自分の技術を高めるようにしています。



取材を終えて

自然体で明るかな人あたりと、超行動派&実力派のやましたさんにググっとひき込まれどこでも自分で生きる道を開けるんだと勇気をもらいました。【中村】



やましたさんの作品

Q コロナで変わったことや気づいたことはありますか?

もともと私は家で仕事をしていましたし、娘は家が大好きなので、これまでも家で楽しむ工夫をしていました。唯一、週一で通っていたバスケットの練習に行けなくてちょっと運動不足になつたことくらい(笑)

また、コロナ禍で、テレワークや仕事を休んで家に居ることが大変を感じている人も多いので、やましたさんの時間の使い方のコツを教えてください。

コツは、一日(24時間)のなかでも仕事、家事、子どもとの時間は区分しますが、一日だけで考えるのではなく、週単位で考えるようにしています。朝から晩まで仕事をする日の次の日は、思いつきり休む日にするなど。

また仕事のルールとして決めている「納期を絶対に守る」ために、①自分が一つの作業にどれくらいの時間がかかるのかを知ること、②仕事量とその時間を計算しスケジュールを組むこと、③スピードアップとクオリティアップを図るための工夫をすること。私はパソコンを使って似顔絵を描くのでパソコンのデバイスや機能を自分が使いやすいようにアレンジしています。業界では、制限時間内にクオリティよく完成させるコンテストもあるので、そういうものに参加しながら、自分の技術を高めるようにしています。